

## 教育委員会からのお知らせ

### ★平成26年 下諏訪町成人式のお知らせ

成人該当者：平成5年4月2日～平成6年4月1日までに生まれた人



期日：平成26年1月12日（日）

受付：午前11時30分

入場：受付終了次第

開式：正午

場所：下諏訪総合文化センター

該当者（当町在住の方・親等が在住の方）には、出席の往復ハガキを11月初旬にお送りしました。

必要事項をご記入の上、11月29日（金）までにご返信ください。

### 記念となる成人式を自分たちで運営してみませんか？

成人を迎える方の中から、成人式運営スタッフを募集します。役割は、式典受付・町民憲章の唱和・成人の詞・司会・祝電披露などです。希望される方はご連絡ください。

問い合わせ：下諏訪町教育委員会 生涯学習係 ☎27-1111（内線718）

### 町民大学 — 下諏訪を学ぶ⑥ —

演題：吾妻鏡にみる下社大祝金刺盛澄について

講師：諏訪湖博物館・赤彦記念館 宮坂 徹 館長

日時：12月8日（日） 午後1時30分～午後3時

会場：文化センター集會室



宮坂 徹 館長

平安時代末から鎌倉時代初期にかけて活躍した諏訪神社下社大祝金刺盛澄のことについて、現在語られている根拠ともなっている、鎌倉幕府に関する歴史書「吾妻鏡」の中に記述されている史料を中心にお話ししたいと思います。実在の人物で、鎌倉幕府初期に諏訪との深いつながりの基をつくった盛澄のことを知っていただきたいと思います。（講師コメント）

### 十二月のこゝろ

いよいよ「師走」。我が家ではこの「師走」に必ずやることがあります。

一つは「注連飾り作り」です。稲わらは友人から分けていただき、飾りはお店で購入して自家製の正月飾りを作ります。子どもの頃は、父親が自宅の田んぼの脱穀後の稲わらで、私が端を持ち父親がわらをよって形を作り、障子紙の御幣やみかんをつけて玄関に飾ってくれました。「さあ、今日は注連飾りを作るぞ！」との声でお正月が来ると思いました。

いま一つは餅つきです。年末になると大きな臼と杵を出して、家族みんなで朝から餅つきをします。我が家では、この風景は子どもの頃も今も変わりません。しかし、今はあまり聞こえなくなりました。朝早くから母と子どもたちが火を焚いてお米を蒸かし、臼に移して皆で餅をつきます。「てんがえし」は妻の役になりました。この時は母が総監督です。つき終えた後、お供え餅を取り、あとは平らに伸ばします。暗くなる頃には切りやすい硬さになり、母と妻で四角い切り餅にします。

便利な時代になりましたが子どもたちの世代でも家族の行事を大切にしたいと願っております。



### ちよつと拝見 運動会の練習 ～とがわ保育園～ 9月19日（木）

とがわ保育園では、運動会の練習が始まっていました。全員でやる野外劇「ふしぎなたね」。先生方が、工夫を凝らして作ってくれた衣装をつけてやる、初めての練習です。園全員（ひよこさんを除いて）でやるのは、とても楽しそうでした。



つばめたちが見つけたふしぎな種に、雨ふり雲が水をかけてくれました。



すると、種がわれて芽が出てきました。



太陽の子どもたちが、キラキラ光線をたくさんかけてくれました。



妖精たちが来て、芽に魔法の粉をかけてくれました。



1番目の芽からトマト。



2番目の芽から、キュウリ。



3番目の芽から、ジャガイモ。



4番目の芽からゴーヤができました。



それを見てカラス軍団がやって来て、野菜たちをつつき始めました。



「食べられてはたまらない」ゴーヤたちは、イボイボからゴーヤビームを放射してカラス軍団を追い払いました。



野菜たちは、無事助かりました。みんなで収穫のお祭りをしました。

### ほのぼの ちかどで

はや一年の終わりの月が巡って来た。暮れやすい一日の昼間は貴重であり、人々は月半ばともなると迫り来る年の瀬に向けて多忙となる。日本では、クリスマスチャンでなくてもクリスマスセールだ、プレゼントだと賑やかである。

クリスマスが近づくと思い出す童話がある。アンデルセンの『マッチ売りの少女』だ。道を行く人々はマッチを買おうとしない。雪の降りしきる中、貧しい少女はそのマッチを擦り、その光の中にクリスマスのご馳走や暖かい部屋を幻影として見るやがて亡き祖母が現れ、少女を抱き締めながら天国へ昇って行った。

豊かで平和な日本に生活している我々は、日々の安泰を当たり前と思いい、ともするとこの幸せを忘れてしまいがちである。世界には、まだまだ困難な生活を強いられている人々がいることを忘れずにいたい。

（上脇）

